



保冷剤タイプ別特長

		タイプ別	特 長	適 性
内 容 物		CMC (カルボキシメチルセルロース)	無毒性、高粘性、安全性に優れる。 熱や光に安定性があり粘度低下しない。 (経時変化がない)。	食品の高粘度安定剤として特性を持つ。安全性が高い。 直接食品に触れるような使用に極めて安心。 再利用性に優れる。
		高吸水性ポリマー (アクリルアミド架橋体)	弾力性、透明性に優れ、高級感あふれる。 粘度低下しない。加工性に優れる。	感性に優れた高級感。再利用性に優れる。 冷凍状態が目で確認 (温度変化と共に真白から透明に変化)。
		高吸水性ポリマー (ポリアクリル酸ナトリウム)	加工性に優れる(汎用充填機対応型)。 光に弱く、経時変化がある。	低廉で1回使用向き。 長時間の保存、ストックに不向き。
		増粘多糖類(変性グアーガム) 低融点タイプ(-15℃)	融点が-15℃(一般蓄冷剤の融点は-3℃~0℃)。 ドライアイスのような炭酸ガスの発生が無い。 凍結に時間がかかり、保冷時間が短い。	氷や一般蓄冷剤では実現不可能なマイナス領域の 温度帯を作り出せる。 冷却能力に優れ、繰り返し使用に最適。
外 装 形 式	袋 詰 タ イ プ	ナイロンポリ	ラミネート加工がしてあり強い。 取扱が簡単。洗浄が可能で衛生的。	低廉でコストを抑えることが出来る。 種類が豊富(商品に合わせて選択しやすい)。
		不織布	結露防止に優れる。 熱移動速度が低下できる。	抗菌タイプ以外は衛生面から繰り返し使用に問題。 結露防止と多少のドリップ機能あり。
		分包封入タイプ	両包囲向き(巻いたり包んだり)。若干高価。	低温度を平均して温度分布の向上に有効。
		吸水タイプ	物流コスト、在庫場所を取らない。吸水に人手がかかる。 重量の増減が吸水量により調整できる。 吸水後、経時変化が起こりやすい。	日々の使用量にバラツキがあったり消費量が読みにくい 場合、在庫ストックがしやすい。最大重量まで吸水させれば、 保冷機能は大きくなる。1回使用向き。
		注水タイプ	物流コスト、在庫場所を取らない。吸水に人手がかかる。 重量の増減が吸水量により調整できる。	日々の使用量にバラツキがあったり消費量が読みにくい 場合、在庫ストックがしやすい。最大重量まで吸水させれば、 保冷機能は大きくなる。1回使用向き。
		ブロー容器	耐久性に優れ、最終コスト軽減が出来る。 取扱が簡単。洗浄が可能で衛生的。 安全性が高い。	繰り返し使用に最適。 非常に強く取扱が簡単。 破損の心配が無く高級感がある。
形 状		袋(パウチ)状	種類が多く、選択しやすい。 中央部分が厚くなりやすい。形状保持性にかける。	低廉でコストを抑えることが出来る。 種類が豊富(商品に合わせて選択しやすい)。 処分(ゴミ処理)が簡単。
		板状	冷却面が均一で温度管理に有効。 箱内セットがしやすい。	高級感がある。作業性が良い。
		ブロー容器	耐久性・作業性に優れる。繰り返し使用することで 経済効果が大。洗浄しやすく衛生的。	繰り返し循環使用が可能なクールシステムがとられてい るところでは、経済性・作業性が大きい。